

## ブルーノ・ムナーリの愛弟子をイタリアから招き フォーラムとワークショップを開催 「ブルーノ・ムナーリの創造の世界」 「ブルーノ・ムナーリの創造的プロジェクトツィオーネの思想に基づく クリエイターのための基本教育ワークショップ」

クリエイター(\*1)支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史)は、ブルーノ・ムナーリ協会会長を務めるシルヴァーナ・スペラーティ氏をイタリアから招聘し、ムナーリ・メソッドの本質をテーマにしたフォーラム(9/21)、クリエイターの創造性を高める人数限定のワークショップ(9/22~9/24)を開催します。

### ■クリエイター向けイタリア研修ツアーを2年連続で実施

メビック扇町では、2015年度から、大阪で活動するクリエイターに、消費のためのデザインとは一線を画す「デザインの本质」について考え、より思考を深める機会を提供するため、イタリアのデザイン思考の原点ともいえる「プロジェクトツィオーネ」(\*)の本質を学ぶ、クリエイター向けイタリア研修ツアーを2年連続で実施してきました。

ツアーでは、イタリアに長く在住し、著書に『アキッレ・カスティリオーニ - 自由の探求としてのデザイン』などがあり、イタリアのデザイン思考に造詣が深い批評家、アーティストの多木陽介氏のコーディネートのもと、今回来日するシルヴァーナ・スペラーティ氏のアトリエ他、カスティリオーニスタジオ、児童書籍出版社などを訪問しました。

今回は、イタリア研修ツアープログラムの一部を、より多くのクリエイターに体験してもらうため、ブルーノ・ムナーリの愛弟子であり、ムナーリ・メソッドの継承者であるシルヴァーナ氏を特別にお招きし、フォーラムとワークショップを開催することとなりました。

(※)プロジェクトツィオーネ(progettazione)  
イタリアでデザインという語が定着するまで使われていた言葉。本来は「プロジェクトを考え、実践する」という意味。ただ物の色と形といった外観だけを考えるのではなく、人間の生活環境の改善を第一の目標とし、機能や生産の問題をより多角的に把握し、解決するといった自律性をもった職能を指していた。



「イタリアのデザイン思考の原点を探る」ツアーでのワークショップの様子  
(2015年11月29日~12月6日実施)

### 本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町  
担当: 堂野・増見・松井  
〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F  
TEL:06-6316-8780 (平日 10:00 ~ 21:30) FAX:06-6316-8781  
ホームページ: <http://www.mebic.com/>

## 【クリエイティブビジネスフォーラム ブルーノ・ムナーリの創造の世界 概要】

アーティスト、デザイナーであり、また優れた理論家、教育者でもあったブルーノ・ムナーリ。「芸術家はその才能を広く社会のために還元すべきである」と考えたムナーリは、子どもの感性をより豊かにする絵本・知育玩具などの作品を残したほか、晩年は、遊びを通して発見することの喜びを伝え、創造性を高める造形教育にも力を注ぎ、後に世界的に知られることになる創造のメソッドを構築する基盤となりました。このムナーリ・メソッドは、クリエイターにとっても、創造性を高める方法として重要視され、世界的に採り入れられています。

本フォーラムでは、ムナーリの愛弟子であるシルヴァーナ・スペラーティ氏にお越し頂き、シルヴァーナ氏がムナーリから直に学んだ、創造に関する特徴あるビジョンの本質的な要素について、長年イタリアに住み、デザインの本質について体得してきた批評家、アーティストの多木陽介氏が聞き手となって導き出します。

- 日時: 2017年9月21日(木) 19:00~21:00(受付開始: 18:30)
- 会場: メビック扇町(大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F)
- 参加費: 1,000円
- 定員: 100名(申込みが定員に達したため、9/19現在キャンセル待ちのみ受付中です)
- 主催: 大阪市、クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

## 【ブルーノ・ムナーリの創造的プロジェクトツィオーネの思想に基づくクリエイターのための基本教育ワークショップ 概要】

<ワークショップの目的>

参加者の皆さんが、日々の専門領域における作業から少し距離を置き、異なる視点で仕事を見直す能力を身につけることです。外から与えられる知識を吸収するだけの場ではなく、講師の導きの下でムナーリの創造の方法を体験し、それを通して各自が持ついくつかの主題を深め、自分自身が進歩していくことをめざします。参加者一人ひとりが、より創造的でより新しい創作に向かう方向に自分を開くことができるようになればと考えています。

<ワークショップの視点>

記号 - かつてブルーノ・ムナーリは、木と言う漢字に非常に関心を示し、それを様々な描き方で表現しました。漢字もそうですが、同じ文字、同じ記号でも書き方、描き方によって、様々な表情と意味を伝達することになります。そのバリエーションを探る中で一体何を見いだすか……。

一枚の紙 - 一見、よく理解したつもりになっている、たった一枚の紙に秘められた性質の豊かさに我々はいつも驚かされます。当たり前目の前にあるものから、一体どれだけの可能性を引き出せるのか、そこに創造作業の一つの重要な鍵が潜んでいます。二次元のものと思っていた物が手を加えることで三次元性を身につけるだけでなく、最終的には非常に見事な「作品」がたった一枚の紙からも生まれます。よく、素材を活かすと言われますが、本当に素材を活かすとは、どういうことなのか……。

このような、ごく当たり前と思われる要素、素材を元に、無限の可能性をそこから引き出し、創造へ結びつけて行く実験的作業体験が今回のワークショップの基本です。

- 日時: 全3日間(※3日間連続して参加可能な方に限ります)  
2017年9月22日(金) 18:30~21:30 / 9月23日(土) 10:00~18:00 / 9月24日(日) 10:00~18:00
- 会場: メビック扇町(大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F)
- 参加費: 30,000円
- 定員: 最大20名(お申込み受付は終了しております)
- 主催: 大阪市、クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

## ■ムナーリ・メソッド

アーティスト、デザイナーであり、また優れた理論家、教育者でもあったブルーノ・ムナーリ。「芸術家はその才能を広く社会のために還元すべきである」と考えたムナーリは、子どもの感性をより豊かにする絵本・知育玩具などの作品を残したほか、晩年は、遊びを通して発見することの喜びを伝え、創造性を高める造形教育にも力を注ぎ、後に世界的に知られることになる創造のメソッドを構築する基盤となりました。このムナーリ・メソッドは、クリエイターにとっても、創造性を高める方法として重要視され、世界的に採り入れられています。

## ■シルヴァーナ・スペラーティ氏（ブルーノ・ムナーリ協会会長）

ブルーノ・ムナーリ氏の直弟子で、ムナーリ氏の生前はコラボレーターを長年務める。教育者であり、ブルーノ・ムナーリ・メソッド®の指導者。モンテベッロ・デッラ・バッターリアにある実家の場所に「エニシダ農場学校」(Fattoria didattica delle ginestre)を創設、自然溢れる環境の中で、創造的プロジェクトツィオーネの思想を伝授している。また、各地の学校、及び教育委員会から招かれて教員への指導にも長年携わって来た。これらの場において、創造性に関するラボを、対象に合わせて考案し、実践している他、教育的なテキストの執筆や文化イベント（展覧会など）の企画もしている。2016年春にはNHKの招きを受け、東京で一週間子供たちのための創造力を伸ばすためのラボを開き、その一部始終が『奇跡のレッスン』という番組で紹介された。メビック扇町イタリア研修ツアーでもワークショップを実施。

## ■多木陽介氏（批評家、アーティスト）

1962年生まれ。1988年に渡伊、現在ローマ在住。演劇活動や写真を中心とした展覧会を各地で催す経験を経て、現在は多様な次元の環境（自然環境、社会環境、精神環境）においてエコロジーを進める人々を扱った研究を展開。芸術活動、文化的主題の展覧会のキュレーション及びデザイン、講演、教育活動、そして執筆と、多様な方法で、生命をすべての中心においた人間の活動の哲学を探究する。著書に『アキッレ・カスティリオーニ - 自由の探求としてのデザイン』(AXIS)、『(不)可視の監獄 - サミュエル・ベケットの芸術と歴史』(水声社)、訳書にマルコ・ベルポリーティ著『カルヴィーノの眼』、プリーモ・レーヴィ著『プリーモ・レーヴィは語る』(いずれも青土社)、アンドレア・ボッコ、ジャンフランコ・カヴァリア著『石造りのように柔軟な』(鹿島出版)などがある。